

## 平成21年 社長年頭挨拶（要旨）

平成21年1月14日

メディアエクスチェンジ株式会社

代表取締役社長 徳田 成美

新春にあたりご挨拶申し上げます。

世界経済の同時減速等の言葉に言い表されるように、本年は厳しい経営環境の年明けとなりましたが、iDC業界においては比較的堅調な伸びが見込まれており、当社としてはソリューション営業力の強化及びコスト削減に全社員一丸となって取り組み、早期の業績改善を実現することにより、企業価値向上を図る覚悟を新たにしております。

当社の強みとは、都市型iDCとしてのメリットを生かし、「顧客エンジニアに快適な設備環境」をご提供できること、また、ネットビジネスをコアとする企業に対して、広帯域・高品質ネットワークと運用・保守のご提供が可能なことであると自負しております。更に昨年2月には、トラフィック増加ならびにBGP経路増加に対応すべく70Gbps・100万経路まで可能なバックボーン設備の増強を実施したことで、より一層ネットワークの品質を高めてまいりました。

また、一昨年12月には株式会社ギガプライズを子会社化し、当社のiDCリソースと同社のITソリューションを融合したワンストップサービスの事業展開を開始し、事業シナジーも確実に拡大しつつあります。

このような取り組みの結果、売上高については、コアビジネスの積上げとインテグレーション事業の開始により着実に回復しつつありますが、収益については実効ある向上策が必須であり、コストダウン対策は勿論のこと、今後の成長力確保の観点から、当社保有資産の強みを更に際立たせたサービスメニューの拡充・開発と、高付加価値データセンター事業の確立が喫緊の課題であると強く認識しているところであります。

これらを踏まえ、下記の事業基本方針に基づいたセグメント別の重点施策及び、コスト削減対策を確実に実行し、逞しく成長するメディアエクスチェンジグループの経営を、不退転の決意で努力して参りたいと思っております。

### [事業基本方針]

1. 高付加価値データセンター事業の確立
2. 売上高利益率（特に営業利益率）の高い事業基盤の構築
3. 多様化する顧客ニーズに迅速・柔軟に対応できる企業体質の充実を図る
4. 以上による早期の継続的黑字体質の実現

以 上